

会議の概要（議事録）

会 議 の 名 称	(番号) 1-38	令和7年度第1回 墨田区図書館運営協議会		
開 催 日 時	令和7年6月29日（日） 午前10時から12時まで			
開 催 場 所	墨田区立ひきふね図書館5階会議室			
出 席 者 数	【委 員】10名 日向 良和（会長）、今井 福司（副会長）、河野 敏也、金 豊子、 矢島 真理子、齊藤 宮子、正岡 恵子、津村 しづ恵、森 恵子、 口中 常嘉、 【事務局】 ひきふね図書館長、ひきふね図書館次長、ひきふね図書館主査、 ひきふね図書館担当職員1名			
会 議 の 公 開 （ 傍 聴 ）	公開(傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
議 事	議事第1 委員紹介 議事第2 令和6年度図書館事業の実績報告及び利用者アンケートの結果報告 議事第3 子ども読書活動推進計画（第5次）の取組みについて 議事第4 その他			
配 付 資 料	・ 次第 ・ 資料1 令和7年度墨田区図書館運営協議会委員名簿 ・ 資料2－1 令和6年度墨田区立図書館事業概要 ・ 資料2－2 事業概要実績推移 ・ 資料3 墨田区立図書館 利用者アンケート結果（概要） ・ 資料4 実施した主なイベント・展示（一覧） ・ 資料5 子ども読書活動推進計画（第5次）に係る令和7年度拡充事業について ・ 参考 令和6年度に実施した主なイベント・展示（抜粋）			
会 議 概 要	・ 令和6年度図書館事業の実績報告及び利用者アンケートの結果報告に関する質疑 ・ 子ども読書活動推進計画（第5次）の取組についての質疑			
所 管 課	ひきふね図書館（電話：5655-2350）			

議事第 1 委員紹介

（協議会委員の変更はないが中学校長の異動、ひきふね図書館長、ひきふね図書館次長の異動があったため、各委員の自己紹介。あわせて事務局の紹介）

議事第 2 令和 6 年度図書館事業の実績報告及び利用者アンケートの結果報告

・事務局

資料 2-1 墨田区立図書館事業概要を説明

・津村委員

登録者数が増えたように感じたが、理由があるのか。

・事務局

区全体の人口増が影響していると考えている。特に 20 代は人口の伸びと同様であるため。人口増の部分が大きいと思われる。

・齊藤委員

障害者事業概要について、現在数が書かれていて、タイトル数と冊数が分かれている表現の仕方は何か理由があるか。

・事務局

拡大写本など 1 タイトルで分冊があるため冊数でカウントしている。

・齊藤委員

利用者はタイトル数が分かればよいと思うが、分ける意図は何か。

・日向委員

管理上、冊数が大事になってくる。資料数の増加傾向があるが、そろそろ満杯ではないか。

・事務局

開架書架は埋まりつつあるが、ひきふね図書館は自動出納書庫に納めることができ、まだ余裕がある。

・日向委員

協議会が決める内容ではないが、区として冊数上限を設けるなどの考えも将来的には必要になる。図書館建替えなどの際、計画に盛り込むなど、将来的に議論していく必要がある。墨田区として、何冊くらいあればいいのかを長期的に 10 年単位の計画で考えていくべきかと思う。

・今井委員

上限にたつする目安が出ていると対策が打ちやすい。長い準備期間が必要になる。本の除籍など、余裕のあるうちにある程度対策を取っておくほうがいい。着地点をどう持っていきたいかというのを考えておいた方がいい。

・口中委員

障害者事業概要の個人登録者数 251 名は多いのか。

・日向委員

それほど多くないと感じる。人口 28 万人の市区町村で障害の方の確率と考えると登録者

数は多くない。サービスの PR が届いていない方がいると思われる。

・ **齊藤委員**

有効な PR が思い浮かばないのかと思われる。区の福祉関係の部署とコラボする、学校で隠れ障害の方へ PR するなど。りんごの棚の普及が進んでいるようだが、目立つ PR が足りない。りんごの棚も障害者関係に貸出していると話はあったが、図書館の目立つところに置いてもらいたいとお願いし、こどもとしょしつに置いてもらった。広く知ってもらう方法で、きっかけを作れば、子育て中の保護者が気付き登録に繋がるのではないかな。障害に気が付いていない保護者の方にも「こういう方が登録できる」ということを PR すれば、登録が増えると思う。ひきふね図書館だけでなく、全館あげて実施すれば増えると思う。

・ **日向委員**

インターネットなどでサポートできる方は国会図書館のサピエなど、点字のデータや音声データをダウンロードできる方向になってきている。図書館にある点字図書や拡大写本の数それほど多くないので、ネットで済むので使いやすいという方向にある程度は流れている。251 名は少ないが、他の方に全く読書が届いていないとは考えにくい。また、サピエは障害者の証明を出すなど事前登録が必要。無料で 20 万冊くらい読めるため、手続きが厳密で、地域によっては、社会福祉協議会などが、手帳交付時に案内し、その場で登録するということもある。全く本が届いていないということではないと思うが、数としては少ないと思う。

・ **齊藤委員**

ひきふね図書館もサピエに登録しているので、サピエの利用が自由にできる。個人では（手続きが）面倒でも図書館を通じれば活用できることを PR していただきたい。点訳データも音声で聞くことができ、点字が読めなくても利用できるので PR すれば利用しやすくなると思う。図書館で利用後に個人で利用したいとなれば、図書館がサポートする体制をとればよい。

・ **今井委員**

利用統計の区分で年齢 0～6 歳が 0 人。この世代の子どもは障害が確定しない場合や療育センターなどで完結してしまっているイメージがある。本は療育センターにあり、図書館に来ないこともあると思う。図書館ができることの PR や、療育手帳の交付時に案内チラシを渡すなど方法もある。利用者を増やすには年齢 0～6 歳の部分が重要と思われる。

・ **日向委員**

今の意見を参考に、区内の他機関との連携が必要。特に教育委員会と福祉部局との連携は必須になってくる。子どもの支援や障害者支援などの場面で、情報が届かないことのないようにしていただきたい。

・ **河野委員**

学校は教科書での連携が進んでいる。拡大教科書などが必要な児童・生徒について、教育委員会と密接に連携をとり必要な申請に対応できる。図書館でもニーズに応えられる

という情報を流してもらえると利用しやすい。

・ **正岡委員**

資料1のCD・DVDについて、すみだ共生社会推進センターのDVDは1点、CDは3点でありにも少ない。すみだ共生社会推進センターに返却されたものがそのまま、置かれるのではないのか。

・ **事務局**

すみだ共生社会推進センターの独自資料のみ置いている。図書館のCDやDVDが返却された場合、貸出前の図書館に戻る仕組みになっている。購入も、すみだ共生社会推進センター独自で決定している。

・ **正岡委員**

CD・DVDは（図書に比べ全体量が）少ないが図書館同士で移動させることはないのか。

・ **事務局**

返却館方式のため、利用者が返却した館に残る。偏った際には図書館・図書室では別の館に送ることはしている。

・ **正岡委員**

不読率というのが、昨年度も重要なテーマだったと思うが、その中でもドラマや映画やアニメ、ゲームから本に興味を持ったお子さんが28%もいる。CD・DVDを増やしていただきたいというも申し上げている。新陳代謝などの努力をしていく必要があると思う。

・ **日向委員**

HSは何の略か。

・ **事務局**

ハンディキャップサービスです。

・ **日向委員**

続いて利用者アンケートのご説明を。

・ **事務局**

資料3 墨田区立図書館アンケート結果を報告。

・ **日向委員**

利用者アンケートの結果についてご意見を。

・ **矢島委員**

自転車で（ひきふね図書館に）よく来るが、駐輪場の下段が満車で、足を運びたくても休日は敬遠してしまう。平日に行くこともできるが夏休みなど9時過ぎには駐輪場が満杯になってしまい、子どもが駐輪するにはスタッフの手が必要になる。駐輪場の改善は、ずっと希望しているが難しい問題だと認識している。電車や循環バスで来られる方には影響がないと思うが、（駐輪場が）狭く、混雑している。夏休みは、特に子どもには危険なほど自転車が密集している。夏休みだけでも、子どもは別の場所に駐輪できれば安全だと思う。

・ **日向委員**

施設の改修にはお金や時間がかかるが、一方で、自転車で来られる方の利用が多いとい

う面でもあるので、検討いただきたい。放置自転車の問題もあるので管理としては難しい面も出てくる。座席数が少ないことも同様の問題。意見として検討を。

・ **今井委員**

駅に近いので、図書館を使わず無料の駐輪場として使っている場合はご遠慮いただきたい。

・ **河野委員**

NPS の経年変化で、R2～R5 はコロナ禍で制限があった。R6 は2類から5類に引き下げられた。R2～R5 の間、学校はGIGAスクール構想で1人1台端末貸与などネット利用が進んだ。ネット利用が増えたことも図書館利用減少などに因果関係があるか。

・ **日向委員**

NPS の変化では分析が難しい場合があるが、R2 からと比べてR6 に変化はあるか。図書館として感じていることはあるか。図書館の中で確認いただきたい。NPS 数値の変化について、今までが高数値だったこともあるが、気にはなった。ほかのアンケートでは立花・八広の数値も悪くないので、これだけ差が出ている理由が分からない。インターネットの影響としては、電子書籍は一昨年度から始まり、読み放題サービスを利用する子どもが多いと利用の仕方が変わったと思うが、それ以外、公共図書館を使われる方の利用は変わらないと思われる。本を読みに来るより、座席を使う方が多い。それほど今まで図書館を使っていた方が来なくなるというのは考えにくいかと個人的には思う。

ただ、ヤングアダルトコーナーにある本の魅力が若い方とズレ始めているかもしれない。本棚に魅力が少なくなっているかもしれないが、他の統計も見てもいいと分からない。あまり単年度の上がり下がりで見なくてもいい。今のところ大きく問題にする必要性はないと思うが、注視しておいた方がいい。

・ **今井委員**

こういうデータが出た時にまず疑うのが、高評価をつけてくれた人が使わなくなった、答えてくれなかった可能性。アンケートが記名ではないので同じ人がどう変化したのかは捉えられないが、10点をつけてくれた人が10人くらい減るとこういった落ち方をするので今まで答えてくれた人が答えなかった可能性もある。もう1年待って結果をみると評価が下がったのかわかる。

・ **日向委員**

来年度の数値を見ていきたい。この数値で下止まりする可能性もある。満足度が低くなってNPSも下がると、サービスに問題があるのでは？となる。前問までの満足度は悪くないので、たまたま数値的に統計的に出ることがあるという解釈もある。立花図書館に行ったことがあるが、狭いと感じる。全体のスペース、場所は仕方ないので、新しいものを別の場所に造っていただくとか。あの場所に新しい物を造るのは難しいと思われる。緑図書館のほうは比較的広い。立花は、閲覧スペースも狭いが、これ以上どうしようもない。

・ **事務局**

立花・八広は都営住宅の1階のため、改修は難しい。最低限の修繕という形で、去年と

今年それぞれ実施する。

・ **日向委員**

町田市の鶴川図書館が同じように市営住宅の一階の一区画を図書館として使い、300 m² ほど。駅前に新しい図書館を作ったので古い方を閉館した。元図書館の場所は、集会室のような有料貸出スペースになっているが、合意形成に時間がかかる。新しい図書館を造るとなったときに、どこにどんな図書館をどのくらいの大きさと、というのが、区民の方それぞれ自分の近くに欲しいと色々なご意見はあるが、やはり、座席やスペースを求めるニーズは駐輪場にもつながるが、人口が増えているという話もあったので、区として整理を。最近では図書館よりも複合施設を整備していく例や、杉並区では統合された学校の再活用で整備している例もあるので、長期的に、区全体のニーズとして捉えた方がいい。

・ **河野委員**

学校図書館もスペースが狭い。そこに、毎年蔵書の増加があるが、生徒のニーズと合わず、ズレがある。予算を使うための購入になっているように感じる。選定も学校司書や司書資格のある教員など限られた人で行っている。生徒の要望も聞いているが、狭い場所に増やす一方では、今の蔵書をどうするかという問題になる。図書館のあり方を考えていかないと。生徒の居場所として、図書館があるんだと考えていくと、登校しづらい子なども図書館にいて、本を読む・過ごしているというのものありだと思う。ボードゲームをやって過ごせるとか。そういった図書館のあり方は、公共図書館も学校図書館もどのように居場所づくりに提供できるか、人的配置も含めて考えていかないと。百科事典など重い本が並んでいて何年も使っていないとなるのはもったいない。今ある資料をどう活用するのか、無くしていくのか、ネットなどで対応していくのか。GIGA スクールで図書館から電子書籍のアカウントをもらって電子書籍が読めるが、図書室は本が増えていって、人が来ないとなるので、あり方そのものを考えていかないといけないと思う。

・ **日向委員**

ひきふね図書館が開館 10 年を過ぎたので、次の 10 年・20 年後を見据えて全体的な計画を作り直すというのはありだと思う。これは何年もかけて慎重に考えていくべきかと思う。図書館のあり方は、かなり変わりつつある。図書館側というよりも、区民の方が期待する図書館像が変わりつつあり、色々な要望があるので、その辺りを整理したほうがいい。

・ **森委員**

TV で飲食ができる図書館が紹介されていて、これからはこういうものが求められていると感じた。

・ **日向委員**

資料 4 はご覧いただき、ご意見があったら後ほど伺いたい。昨年イベントや展示の参加人数など。

・ **森委員**

知らないイベントがあったので、イベントのアナウンスの仕方を考える必要がある。

・ **今井委員**

イベント告知について、利用者アンケート結果から見ると、ネットからというよりも旧来的な区報や図書館ニュースなどが多い。ネットであれば拡散してくれる人がいて、その人の動画などを見ることができるが、全体で4人しかネットで見たという人がいない。口コミ頼りになっている。チラシ以外では、例えば、図書館の貸出レシートにイベント告知するところもある。力を入れるならば、貸出・返却の時に一枚紙を渡す。また、A4で（チラシを）貼ると他の紙に紛れて目立たず見落とすので、紙のサイズ変えるなどは他の業界でもやっている。この数字を見る限り、アナログのほうが効果は大きいと思われるが、知らないという人にどう届けるか。

・ **河野委員**

若い人はSNSでの情報収集が中心だが、そこを充実させるのはどうか？

・ **今井委員**

以前は、X（旧Twitter）などで出せば、その地域に住んでいる人に告知がでたが、今はフィルターバブルでリコメンドが強く働き、発信しても広報が出て来ず関心のある人にしか届かない。今はバズらないとおすすめに出不ない。原点回帰している気がする。今は「ここに出せば安心」というところがない。SNSは興味があるものしか出不ない。本のしおりに挟むなど原点に戻ってしまった。

・ **河野委員**

口コミとかが強くなっているということか。

・ **今井委員**

大学も職員が伝えるより、教員が授業の冒頭で言った方が有効。若い世代に伝えるならば、図書館側から伝えることも重要だが、学校の先生にホームルームで言ってもらうだけで効果が全然違う。

・ **日向委員**

SNSは若い人同士でも伝わらない。インターネットは大学生にも期待していない。万が一来るかも程度。図書館でSNSをやってもほとんど見ていないと思う。何を見ているかというと、区の広報が最も有効でポスターやチラシなど原点回帰している。手間も暇もかかるが、イベントについてはネットでは難しい。緑図書館のおみくじ配布は参加者が多いが、大学で本のガチャガチャをした際大変人気があった。職員が段ボールで作ったもので、当たると本が1冊多く借りられるもの。ゲーム要素があると目につきやすく、子ども同士のネットワークで広がっていくので、遊び要素があるといい。

・ **森委員**

小学校・中学校のコンサートでプロも出るイベントを無料でやっている。地域貢献で新聞に公告を入れてくれたところ、たいへん人が集まった。新聞の広告が見られていると感じた。

・ **日向委員**

墨田区のイベントは募集人数に対して参加人数の充足率が高い。定着もしているので良

いと思う。展示も墨田区に関連した展示も多く、社会問題も多いので、ほかの図書館に比べても誇れると感じた。

議事第3 子ども読書活動推進計画（第5次）の取組みについて

・事務局

資料5 子ども読書活動推進計画（第5次）に係る令和7年度拡充事業についてを説明。

・日向委員

今年から始まった子ども読書活動推進計画の拡充内容をご紹介いただいた。ご質問はあるか。

・津村委員

現場からとして、ほうかご図書室はとても人気。保護者も来て、何を読んだらいいかといった相談もしており、司書と仲良くなる。子どもの居場所の話があったが、ぜひ続けていただきたい。横川は低学年が多く高学年をあまり見ないが、特に低学年には好評。また、パスファインダーがとても有効だと思う。教員の研修にも使ったが「これがあると調べやすい」や「この本で探せる」というのが分かる。学校用にいただいたものを学校に貼っていて、子どもから「ウイルスのものが見たい」や「宝石のものを見たい」と言ってくれるので、小・中学校に宣伝してほしい。パスファインダーをきっかけにポプラディアを開いたこともあるし、調べられると話もした。せっかく素晴らしいものを作っているのだから宣伝をした方がいい。

・矢島委員

ほうかご図書室で支援員をやらせていただいている。低学年の利用が多い。ある小学校では5・6年生は登録できないので、1～4年生までだが、ほとんど1・2年生の利用者。図書室の隣に、授業中に授業を受ける気持ちになれない時や、落ち着いて授業が受けられない時などに気持ちを落ち着かせるための場所ができた。授業中お子さんが自由に図書室を利用できず、支援員が連れ戻しにくるなど、保健室登校のように図書室は使えない。以前、授業中に支援員の方が付いて、本を見ながら折り紙を折っているお子さんがいた。今思うと、図書室に行くこともできたのではないかな。難しい問題だと思うが、図書館の活用という点では、小学校ではいつでも（図書室を）利用していいという状況ではない。中学校では司書のいない時間や図書委員が居られる時間以外は全て鍵をかけているところがある。ブックトークに伺った学校では図書室でお昼を食べたが、休み時間も「カギを閉めますがいいですか」と自分が居てもカギを閉め、生徒さんがのぞきに来ても鍵がかかった状態だった。図書室に司書がいなかった頃から比べ、小学校は週3回司書が来てくれるようになったので、図書室が本当に落ち着いているし、書架整理も行き届くようになったので、毎日いてほしい。中学校ももっと司書のいる時間があれば、いつでも本のことを相談でき、図書室を開放できる時間が増えると思う。区の予算の都合もあると思うが、なるべく司書のいる時間を増やしてほしいと思っている。

・河野委員

密室を作ってしまうと、事件や事故が起こりやすくなる。死角の場所はなくす。パソコン室も、タブレットがあるので（部屋を）使わなくなっているのも、使い方を考えなければならない。図書室も同様に、開けたままにして資料の紛失などがあれば事故になってしまう。そのため、人の目があるところでの開放となる。一方で、居場所づくりというのとも考えないといけないと思っている。

・矢島委員

図書の授業で1年生に図書室で本を借りて返すためのルールを教えたが、なかなかルールが覚えられない子がいて、司書が苦労している。年々お子さんに借り方のルールが届きにくくなっていると危惧している。原因は分からないが、それだけ司書が苦労するお子さんが多くなっている。

・今井委員

幼稚園も文部科学省的には学校なので、幼稚園で本の貸し借りをやったことがあるかという経験の差は大きいと思う。初めてでは何をやっていいかわからなくなることもあると思う。幼稚園で週に1回本の貸出をし、1週間で返すというのをやっているのと、本の貸し借りや、大切にしないといけないと理解していくが、そういった経験が積みにくくなっているのかもしれない。

・日向委員

家に本棚がないと本を戻すという経験もないし、親が戻すことも経験にならない。本屋さんに行く経験がなければ、読みたい本を出して、いらぬ本を戻すという経験が少なくなる。話としては、ほうかご図書室が素晴らしいので増やしてほしいという結論なので、ほうかご図書室に限らず、そういった活動がりんごの棚の団体貸出や絵本セットの団体貸出の場として非常に重要になっているので期待されている。

・口中委員

区内の小学校の施設管理、夜間警備をしているが、ある時から図書室の鍵を施錠しなくてよくなった。1日中開いたままになっている。墨田区内すべての学校が同様かと思っていた。

・事務局

学校の管理になるので、図書館としては学校の対応に合わせる。

・日向委員

ほうかご図書室は居場所として重要。そこに本がある、本を届けるというサービスが今後増えていくと思う。小さいお子さんだと、なかなか図書館まで来るのが難しい地域や交通事情もあるので重要になってくる。団体貸出など、アウトリーチという図書館が人のいる場所に行くサービスが広がって来ている。区の図書館職員の役割が外に出て行って外でPRしたり、直接利用者にサービスしたりと、だんだんと変わってきている。館内は委託業者や指定管理にお願いするなど、切り替えていただけたらと思う。事業が増えているので全体の総サービス量はどこかで限界が来る。どこかでやめなければいけないサービスが出てくる可能性がある。今のところ拡充・拡充で進めているが、止めるものや地域に任せるなどいくつか役割も出てくるかもしれない。そういった役割を

担う方を育てていくことも今後の課題としてある。実際、図書館だけでできる量を過ぎている気がする。かといって、地域の人にやってもらえるかという受け皿がない。受け皿を育てていくような、パートナーズのような団体を作っていくことや立ち上げたいという人を支援していくという方向に変えていく必要もある。人も多様、支援のやり方も多様化しているので、今までは絵本を置いてあればよかったものが、今はいろいろな資料を用意するなど、アプローチ方法が増えてやるが増えている。どこかで受け皿作りという仕事を区で考えてもいいと思う。区民との協同というのは区全体のことでもあると思うので、「区民の方でやりたい方にやっていただき、本は区で用意します。」などしていかないとやりきれなくなる。

・事務局

UDC すみだという大学連携をやっている団体の「夕涼みブックナイト」というイベントが京成曳舟駅前のロータリーで開催された。そこで、図書館の本を提供したり、読み聞かせをしたりと連携した。今後続けていけたらと話していた。

・日向委員

新しい取組、拡充する取組について皆様のご意見や不足している部分など、地域の方からの協力が必要。区がやりきれない分はあまりないので、住民の方々が自分たちで組織してやっていく意識がないと、広げるのは難しくなっている。皆様の関係者にご協力いただきたい。ご意見等は随時事務局に。

議事第4 その他

・事務局

2点報告。1、今年度から区内全中学校10校の学校図書の運営支援、図書館と学校の連携強化を図る目的として、学校図書館の職員配置について業務委託を開始し、すべての中学校に有資格者を配置することができ、高い専門性と学校間における支援強化を図った。2点目、本日を含め今年度は計3回の協議会を予定。次回以降テーマについては現在検討中。

・日向委員

今年は、従来通りの普通の協議会に戻るので、皆様方のご意見をいただきたい。時間になったため、第1回の図書館運営協議会は以上とする。